



古志原小学校だより

えがおいっぱい

令和5年度No.13

11月24日

(文責 校長 小林 敏朗)

11月13日(月)は「お弁当の日」でした(残念ながら2年1組は学級閉鎖期間中でした。)。お弁当の時間に合わせて、いくつかの学級を見て歩きました。子どもたちは、とてもおいしそうに食べていました。中には「これは、ぼくが作ったよ。」「私が焼いた〜。」などと教えてくれる子もいました。いつもの給食もいいのですが、子どもたちの表情を見ながら、たまにはお弁当もいいなと思いました。保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



話は変わって、11月20日(月)から22日(水)の3日間、PTA執行部の皆様を中心に昇降口前で「あいさつ運動」をしていただきました。いつもは児童会の生活委員会の子どもたちや私がいさつをしていますが、保護者の皆様にもあいさつをしていただき、あいさつをする子、あいさつを返す子などがぐ〜んと増えたように感じました。古志原っ子のあいさつは、確実によくなってきているように感じます。これからも、保護者の皆様、地域の皆様と学校が一緒になって、あいさつ指導に力を入れていきたいと考えています。この3日間、昇降口前以外の場所(家庭内、家の前、登校班の集合場所等)でもあいさつ運動をしていただいた方もいらっしゃると思います。お世話になりました。ありがとうございました。



1年生のサツマイモの活動から・・・

10月下旬、1年生は1学期に苗植えをしていたサツマイモのいも掘りをしました。どんなサツマイモが土の中から出てくるのか、とても楽しみにして掘っていきました。すると、結構大きなサツマイモも出てきたり、数もしっかりと収穫したりすることができました。そして、11月14日(火)には、1年生全体でそのサツマイモをふかしていただきました。自分たちで育て、育て、そして掘ったサツマイモですので、きっと格別の味がしたことでしょう。子どもたちは、給食後のデザート(?)として、おいしそうに食べていました。サツマイモをふかす際には、ボランティアの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



本物に触れる学習から・・・

教室で机上での学習もちろん大事なのですが、子どもたちが本物に触れる学習もとても有意義だなと感じます。教科書や資料集、電子黒板で見る画像や動画でも学習はできますが、本物の空気感や大きさなどは、やはり実際に触れたときに感じるもののように思います。

3年生は「私たちの暮らしを守る仕事」の学習で消防署の学習をしました。11月14日(火)には、実際に消防署の方に来校いただき、教室でお話を聞いたり、実際に校庭にやってきた消防車を間近で見たりしました。また、消防服を着ることを経験した子もいました。4年生は、「郷土の先人たち」の学習で、学級毎に八雲町の意宇川に出かけ、周藤弥兵衛さんの功績について学びを深めました。42年間をかけて、のみととんかちで切通しを造った偉大さを感じました。5年生は、10月18



日(水)に「流れる水のはたらき」の学習で、斐伊川に出かけました。「下流～中流～上流」の順番に見て歩きました。水の流れの速さや石の大きさの変化など、子どもたちは驚きながら見学をすることができました。6年生は、11月15日(水)に地層についての学習で千酌海岸に出かけました。実際に地層を見て、地層の様子や長い年月をかけて地層ができることを学習しました。これからも可能な限り、本物に触れる学習を展開していきたいと考えています。



第2回学校運営協議会から・・・

11月8日(水)の午後、今年度の第2回学校運営協議会を行いました。この学校運営協議会は「学校・家庭・地域の『連携』から、さらに充実・発展させてともに『協働』していくことで、その地域の子どもの健全育成をめざしていく」という趣旨の会議です。当日は、初めに5時間目の授業の様子、子どもたちの様子を見ていただきました。その後、会議室にて意見交換を行いました。意見交換の中で、委員の皆様が口を揃えておっしゃったのは「学校が落ち着いている」「校内が静か」ということでした。それに関わって、ある委員の方は「授業中、先生の注意する声が減った」ということをおっしゃいました。これら以外にも、学年担任制(特にローテーション道徳)やインフルエンザのこと、子どもたちの呼び方(「～さん」)、電子黒板と黒板の使い分けなどについて話題になりました。また、「学校が落ち着いている」という評価をいただいた一方で、「授業中はきちんとメリハリをつけるべきだ」「これから更に子どもたちの個性を伸ばす教育をしてほしい」というご意見もいただきました。この会でいただきましたご意見を大切にしながら、子どもたちの成長を更に促す教育活動に励んでいきたいと考えています。



最後に、会全体が終わったときに、ある委員の方が「今日、学校にやってきたのが掃除の時間でした。玄関に入ると、掃除をしていた子がすぐに『どうぞ』とスリッパを出してくれました。とても感心しました。」ということをおっしゃいました。私自身もとてもうれしく思いました。(後日、この話を玄関掃除の子どもたちに伝えると、それ以降お客さんが掃除の時間にいらっしやると、欠かさずスリッパを出しています。)

通学路クリーンアップ活動から・・・

11月3日(金・文化の日)の朝、古志原地区青少年育成協議会の主催で「通学路クリーンアップ活動」を行いました。これは、親子で通学路を歩き、ゴミを拾いながら学校までやってくるという活動です。当日は、事前の申し込み数以上のおよそ200名の皆様にご参加いただきました。学校に到着してから、正門付近を中心に清掃活動もしていただき、おかげさまでとてもきれいになりました。また、「通学路クリーンアップ活動」終了後、一部の保護者の皆様には「学校環境整備」として、校庭横の側溝の掃除もしていただきました。当日お忙しい中、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

